

データ作成時にご注意いただくこと【Adobe Illustrator 編】

Adobe Illustrator でデータを作成する際にお読みください。

テンプレートについて

クリアカード(横 54mm× 縦 86mm) 角丸あり 製品仕様：仕上がりサイズ：54×86mm

clearcard_kadomaru_54x86_ver8.ai (IllustratorCS2 以前用 アートボードサイズ：60 x 92mm)

clearcard_kadomaru_54x86_cs3.ai (IllustratorCS3 以降のバージョン用 アートボードサイズ：54 x 86mm+ 裁ち落とし設定 3mm)

データ作成時のチェックポイント

<レイヤーパレットについて>

レイヤー		
👁️🔒	> トンボ	
👁️🔒	> アタリ	
👁️	> 後白版	
👁️	> カラー版	

トンボ・アタリレイヤー

印刷に必要なトンボと、仕上りの抜きの目安になるアタリのレイヤーです。

ここには書き込み等をおこなわないでください。

(誤作業防止のため、初期状態ではロックがかけられています)

後白版レイヤー

カラー版のデザインを透けない仕上がりになりたい場合、ここに **K** で白版データを作成してください。グラデーションや K の % を下げることで、半透明のデザインも可能です。

また、**白**で表現したいデザインもこのレイヤーに作成してください。

(カラー版に白でデータを作成されていても、後白版レイヤーに白版データが作成されていない場合、仕上がりは「透明」になります)

カラー版レイヤー

絵柄のデザインはこのレイヤーに行ってください。

このレイヤー内のものはすべて印刷されます。

アタリやメモ書き、透明擬似のグレー等をいれないでください。

<デザインと仕上がりアタリについて> 大まかなポイントは2つ！

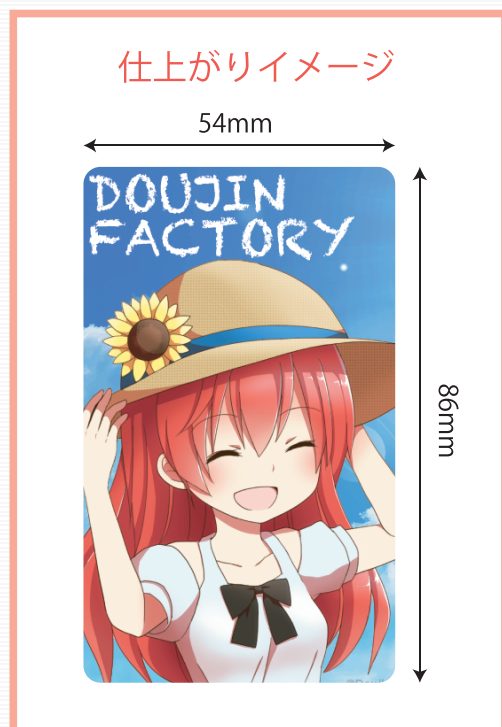


仕上がりアタリ

製品の仕上がりサイズです。大事な絵柄がはみ出ない様にご注意ください。

塗り足し

仕上がり線ギリギリまで絵柄を入れたい場合、仕上がり線より3mm余分にデザインを作ってください。

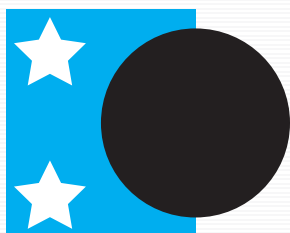


| オーバープリントについて

この商品は、黒色（K100%）のオブジェクトに、オーバープリント処理を行います。

オブジェクトが重なっている場合、黒色が透けて印刷されます。

オーバープリント処理を避けたい場合は、黒色（K100%）に別の色（シアン1%など）を加えてください。



デザインデータ



仕上がりイメージ

| データ入稿前のチェックポイント

- ・カラーモードは、**CMYK**にしてください。
- ・全ての文字は、**アウトライン化**をしてください。
- ・**パターン・効果・アピアランス**を使用する場合は、分割・拡張を必ず行ってください。
- ・**4色ベタ（C100%/M100%/Y100%/K100%）**は、しないでください。
※意図的にリッチブラックを使用する場合は、C40%/M40%/Y40%/K100%を推奨します。
- ・画像は、**埋め込み・リンク**をしてください。リンクする場合、画像データも入稿してください。
- ・画像解像度は、原寸で**約300～350dpi**を推奨します。
- ・画像のカラーは、**CMYK**にしてください。
- ・**テンプレートの情報（線・説明文・レイヤーなど）**は、移動・削除をしないでください。
- ・**お使いのバージョン**で、保存してください。